

# 沖電気グループのCSR—「これまで」と「これから」

## 企業理念を原点としたCSR活動を推進

沖電気は、企業理念「沖電気は進取の精神をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。」のもと、本業を通じて社会に貢献するとともに、企業活動に伴うさまざまな社会的責任を果たすよう努めてきました。

創業者である沖牙太郎が明治期の日本社会において「電話」という新たな通信手段の普及に貢献したことを原点に、沖電気は現在に至るまで情報・通信のさまざまな分野で人に優しい安全・安心な商品やサービスを提供し、今日の情報社

会の発展に貢献しています。また、コンプライアンスの強化、株主・投資家の皆様への適切な情報開示、環境保全活動の推進、働きやすい職場環境の整備、地域社会への貢献などに各部門が積極的に取り組んできました。

なかでも、企業市民としての活動においては、企業集団献血、重度障害者の在宅勤務、骨髄バンクのドナー登録にいち早く取り組んだ「3つのパイオニア」として、1996年に設置した「社会貢献推進室」を中心に特色ある社会貢献活動を推進しています。



創業者・沖牙太郎と初期の電話機

銀細工師から工部省電信寮製機所の技手を経て、1881年、明工舎（沖電気の前身）を創設。日本初の通信機メーカーとして、電話機の国産化に尽力した。



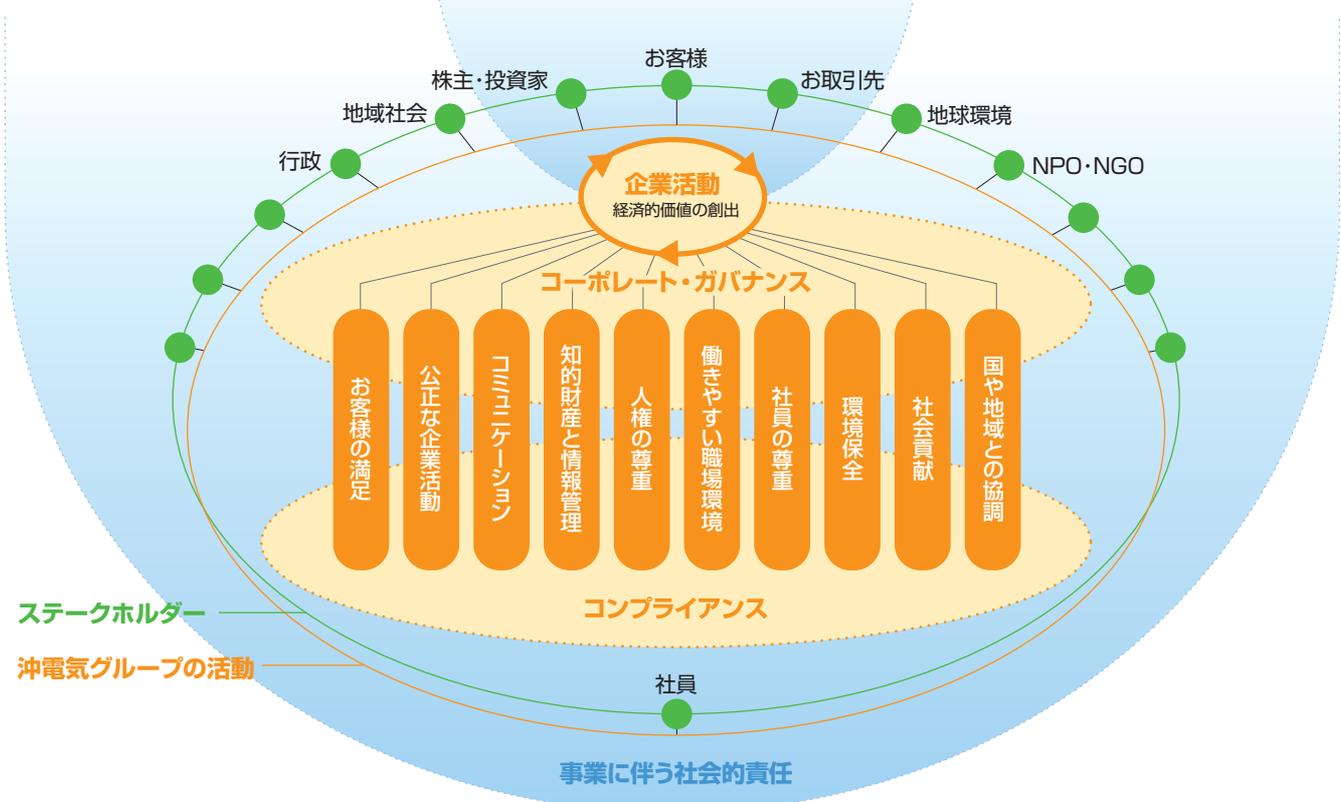
第1回集団献血

### 社会貢献活動における「3つのパイオニア」

- 企業集団献血  
売血による輸血後肝炎が大きな社会問題となり、献血思想が芽生えはじめた1964年、一社員の提案により日本初の企業集団献血を実施。
- 複数の重度障害者の在宅勤務雇用  
1998年、企業として初めて複数（3名）の重度身体障害者を在宅勤務で雇用（P11参照）。
- 全事業所で骨髄バンクのドナー登録会を実施  
2001年、沖電気の全事業所で、企業として初めて献血並行型のドナー登録会を実施。

## 世界の人々の快適で心豊かな生活の実現に貢献

「ネットワークソリューションの沖電気」として「e社会®」に貢献



## 専任組織を設置してグループとしてのCSR活動を推進

経済のグローバル化や情報化の進展のなかで、企業に求められる社会的責任も大きく変化してきています。そこで沖電気は、これまでの取り組みが、今日企業に求められる責任を十分に果たすものとなっているかを、お客様をはじめ、株主および投資家の皆様、お取引先の皆様、地域社会の皆様、社員

など企業を取り巻くステークホルダーの視点から捉え直す必要があると考え、2003年末から「沖電気グループ」としてのCSR推進体制の検討を開始。2004年10月1日、グループ全体のCSRに関わる活動を推進する組織として「CSR推進部」を新設しました。

## 「沖電気グループ企業行動憲章」を制定

沖電気グループは、CSR推進部の設置と同時に、現時点で重点的に推進すべきCSR活動のテーマを以下の6項目と定め、関連する各部門との連携を強化しながら取り組んできました。

### 沖電気グループのCSR重点6項目

- 株主・投資家への情報発信
- お客様満足 (CS) の向上
- 環境への対応
- コンプライアンスの推進
- 社員の尊重
- 社会貢献

グローバルなグループ経営のなかでこれらを着実に推進し、また企業を取り巻く環境が激しく変化するなかで継続的にCSRの取り組みを強化するためには、企業理念に根ざした沖電気グループのCSRへの基本姿勢を社内外に明示すること

が重要であるとの認識のもとに、2005年10月1日に「沖電気グループ企業行動憲章」を制定しました。

「沖電気グループ企業行動憲章」は、沖電気グループの全社員が共有すべき価値観を示した企業行動原則です。6つの重点項目を踏まえ、より長期的かつグローバルな視点から、沖電気グループが企業理念に立脚して果たすべき社会的責任を明確にしました。

沖電気グループは、この憲章に則り、今後とも誠実に企業活動を遂行していくとともに、積極的な開示を行い、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを図っていくことで、さらなる信頼関係の構築と企業価値の向上に努めていきます。

## 沖電気グループ企業行動憲章

沖電気グループ（沖電気工業株式会社およびグループ各社）は、常にお客様に「安心」をお届けし、株主や投資家、社員、お取引先、地域社会など、すべてのステークホルダーの皆様の信頼を得ることが、企業価値向上の基盤であると認識しています。

関係法令の遵守はもちろん、社会的良識をもって健全な企業活動を展開し、世界の人々の快適で心豊かな生活の実現に貢献していきます。

### お客様の満足

沖電気グループは、常にお客様の満足を得られる商品・サービスを、安全や使いやすさに十分配慮して開発・提供します。

### 公正な企業活動

沖電気グループは、公正、透明、自由かつ適正な競争ならびに取引を行います。

### コミュニケーション

沖電気グループは、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を適時かつ公正に開示します。

### 知的財産と情報管理

沖電気グループは、知的財産の重要性を認識するとともに、個人情報をはじめとするお客様および自社の情報を適正に管理・保護します。

### 人権の尊重

沖電気グループは、企業活動において人権を尊重し、差別的取扱いを行いません。また、児童労働・強制労働を認めません。

### 働きやすい職場環境

沖電気グループは、すべての社員にとって安全で働きやすい職場環境の確保・維持に取り組めます。

### 社員の尊重

沖電気グループは、社員一人ひとりの個性を尊重し、目標に向かって果敢にチャレンジし続ける風土醸成に取り組めます。

### 環境保全

沖電気グループは、より良い地球環境の実現と継承のため、環境経営を推進し、商品および事業活動を通じた環境保全に取り組めます。

### 社会貢献

沖電気グループは、良き企業市民として真に豊かな社会の実現に向けて、社会貢献活動に取り組めます。

### 国や地域との協調

沖電気グループは、事業を行う国や地域の文化・慣習を尊重し、地域社会と良好な関係を作り上げ、ともに発展していくよう努めます。